



12月定例会では、12人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。  
 内容は要約して13～22ページに掲載します。なお、会議録は香美市ホームページ上にアップします。  
<http://www.city.kamikochi.jp/site/gikai/>

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
①山崎龍太郎	1. 小規模工事等契約希望者登録制度 2. みなし寡婦控除適用 3. 国民健康保険規則 (17・18条)	⑦濱田百合子	1. 地域活動支援 2. 児童の安全な通学手段の確保 3. 若者定住支援 4. 消火設備
②山崎晃子	1. 介護保険 2. 集落再生 3. 支所は市民のために	⑧比与森光俊	1. 自転車の安全運転講習 2. 市内観光地の体験学習 3. 障害者を災害の恐怖から守る
③小松紀夫	1. 全国学力テストの成績公表 2. 中学生の学力向上策 3. 教育委員会の組織	⑨織田秀幸	1. 集会所の耐震化 2. 光通信設備事業
④依光美代子	1. 健康増進計画の見直し 2. 第5期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 3. 特定健診の受診目標達成のため 4. コンプライアンス委員会を設置しては	⑩山崎眞幹	1. 第7次実施計画 2. 広報香美 3. 組織再編
⑤有元和哉	1. 三市共同システム 2. 社会変化への対応 3. 市バスの運用 4. 多様性への対応	⑪利根健二	1. 南海地震に備えての備蓄食料 2. 「ふらっと中町」の継続を
⑥石川彰宏	1. 国道195号に架かる橋の安全性 2. 中山間地域の田畑の維持	⑫大岸眞弓	1. 特定秘密保護法案 2. 学力テストの成績公表 3. 国保の負担軽減を 4. 「ひきこもり」対策を 5. 生活保護

### Q 小規模工事等契約希望者 登録制度の検証は

A 改善点あれば見直したい



山崎龍太郎  
(日本共産党とくらしと福祉を守る会)

小規模工事等契約希望者登録制度は、運用に広がりを感じない。以下について問う。

問 登録業者が、対象工事を網羅できていないが、見解を。また、登録事業者を増やす努力は。

柳本隆司管財課長

答 この制度は、市が発注する小規模工事等において、市内に住所を有する事業所・法人・個人に対し積極的に受注機会を拡大を図ることを目的とした制度



草刈り作業を行う登録業者

である。

答 工事の業種が網羅できていないのであれば見直しも必要と考える。事業者を増やす方法として、制度の広報を積極的にを行う。

問 工事件数・工事額は減少傾向にある。緊急・特殊工事以外は制度利用を念頭に置かねばならない。現状認識及び制度を利用する課の固定化について。

答 小規模工事は、内容が軽易でかつ履行の確保が容易と認められる工事であるから、発注工事の件数は限られる。また、施設を維持管理する課に限られて

いるので、課の固定化は致し方ない。  
問 制度の実績検証は、行っていない。今後は実績調査時に検証を行い、改善点等あれば見直したい。  
答 業者確保の点からも登録申請の緩和を。制度の充実・事業者確保の点から、登録申請の緩和が必要であれば見直しを行う。

### Q 寡婦控除の拡大を

A 流れが盛り上げれば

非婚の母に対しては寡婦控除が適用されず高い税金・保育料負担が強いとされている。以下について問う。

問 寡婦控除を全てのひとり親世帯に拡大することは当然と考えるが。

野島恵一 税務課長

答 「ひとり親の婚姻歴により格差をつけるべきでない」という見解が最近注目を集めている。

非婚のひとり親に対する市町村の支援の動きも出てきている。社会の状況も変化しており、その流れがさらに盛り上げれば、税制改

### Q 新しい自治組織が必要では

A 今の取り組みが将来につながる



山崎晃子  
(日本共産党とくらしと福祉を守る会)

問 まちづくりに関し広島・京都・兵庫等で研修を行ったが、それぞれの自治体で条例化・機構改革など、明確

正につながっていくのではないか。

問 未婚、離婚のひとり親世帯の所得状況は同水準である。保育料についてみなし寡婦控除の適用を。

後藤博明 教育次長

答 現在のところ適用する予定はない。

な方向性を位置づけている。本市の集落サポートの戦略は。

山中俊明 政策企画財政課長

答 本市では、地域づくり支援員の配置や空き家バンクの登録による移住促進など、様々な施策を実施している。



地域支援員と住民による地域資源調査（別府）

来年度には、まちづくり推進課に「定住班」を設置し、移住・定住推進を強化する体制を整えることとしている。

また、第2次振興計画策定作業にも着手する予定であり、この計画に「戦略」について話し合うことができる。

地域住民が、行政のサポートのもとで意識改革するために、新しい自治組織や体制づくりが必要では。

今田博明まちづくり推進課長

本市では、集落の維持や活性化を目的として地域支援員を配置している。

導入地域では、支援員が市役所と住民のパイプ役となり、隣接する集落と一体となって支え合う仕組み作りや移住対策を進めており、

訪問介護と通所介護が介護保険から地域支援事業に移行した場合、今迄のようなサービスが利用可能か。利用者負担は。

訪問介護と通所介護が介護保険から地域支援事業に移行した場合、今迄のようなサービスが利用可能か。利用者負担は。

九内一秀健康介護支援課長

地域支援事業を受けてくれる事業所を確保していく必要がある。利用料は現在の介護サービスの負担割合を下回らないようにとのことが言われている。

在宅介護に医療確保は不可欠。在宅療養支援診療所等の在宅医療に関する体制は。

在宅医療体制につ

この取り組みが「新しい自治組織や体制づくり」に将来的に、つながって来ると考える。

### 要支援者への支援計画は

効果的なサービスを提供

いては、中央東福祉保健所を事務局とする「南国・香南・香美地域推進協議会」で、関係団体の事業計画等を出し合い、協議している。

平成26年度末迄に小規模多機能型居宅介護施設を各圏域に1カ所整備するとなっているが、見直しは。

平成26年度に募集

要支援者への支援が市町村事業に移行することになれば、新たな取り組みが必要になり、より具体的な計画が求められるのでは。

地域の実情に応じた柔軟な取り組みによって、効果的なサービスが提供できる形式に見直すと言われている。

地域の中にサービスの提供資源として、何かがあるか等把握し、策定委員会で検討していく。

### 小中学校の平均正答率は

小学校は高く、中学校は低い



小松紀夫 (自由クラブ)

いる。

本市小中学校の平均正答率は、国・県平均と比較してどうか。

全国平均と比較すると、小学校は高く中学校は低い。県平均と比較すると、小学校は国語Aがマイナスイ・3、国語Bがプラス0・3、算数Aがプラス1・2、算数Bがプラス1・5、中学校は国語A Bともにマイナス3・0、数学Aがマイナスイ・3・6、数学Bがマイナスイ・2・8である。

この結果は、県同様平成19年度から次第に向上している。

来年度以降の学校別成績公表について、教育委員会の考えは。

現在、市教委も学校も調査結果の概要を公表し、家庭・地域の

平成24年度から広報11月号で、調査結果から見えてきた現状や課題を知らせている。また、各校は学校だより等で調査結果の概要と取り組みを知らせて

現在、市教委も学校も調査結果の概要を公表し、家庭・地域の



**Q** 習熟度別少人数授業の導入を積極的に推進したい

**A** 本市の小中学生の学力は、全国学力テスト

協力を得ながら教育を進めているので、市教委が学校別成績公表する必要はないと考える。

**問** この傾向は、以前から指摘されているが、原因をどのように把握しているか。

時久恵子教育長

**答** 主に3つの原因が考えられる。

- ① 新しい学力観に立った授業の徹底、特に活用を目指した学習に不十分があったこと。
  - ② 国語より数学の力が弱いことについて、小学校の算数から中学校の数学への接続に問題点があると押さえており、小学校での十分な習熟と中学校導入期からの指導の工夫が不足していること。
  - ③ 家庭学習が不足していること。
- 現在、この観点に立って授業改善に取り組んでいる。
- 問** 学力向上策として習熟度別少人数授業を導入する考えはないか。
- 答** 習熟度別少人数授業は大変効果があり、積極的に推進したい。そのため、県に対して加配教員の配置を要望するとともに、市教委としても教科補助ができる体制を整えたい。

**問** 九内一秀健康介護支援課長

**答** 前回のアンケートとの比較や今回のアンケートによって評価を行った。野菜の摂取状況・女性の運動実施割合・若い世代からの歯周病予防などが課題となっている。

**問** 各関連部署との連



依光美代子 (市民クラブ)

**Q** 健康づくりの評価と課題は

**A** アンケートにより評価を

**問** 本年度は香美市健康増進計画の見直し時期である。次期計画策定に当たり、健康づくりの各項目について点検・評価はできたか。課題は何か問う。

**答** 本年度は香美市健康増進計画の見直し時期である。次期計画策定に当たり、健康づくりの各項目について点検・評価はできたか。課題は何か問う。

携はできたか。

**答** 教育委員会との連携では、保育園での虫歯予防に有効なフッ素

洗口の実施や女性の運動習慣化の検討会の開催、中央東福祉保健所とは、タバコ・アルコールの影響について、知識の普及・啓発を行っている。

**問** その評価に対し策定委員会では、どのような意見があったか。

**答** 市の計画との整合性は。

**答** 香美市振興計画「第3章 安らぎを守る」の中に位置づけられている。

**問** 県の計画と整合性は取れているか。

**答** 「よさこい健康プラン21・第2期中央東行動計画」の内容を踏まえ検討している。



フッ素洗口でクチュクチュ

**Q** コンプライアンス委員会を設置しては

**A** 現時点では考えていない

**問** 市の業務は法令順守ですべきである。法律や条例・規則の認識不足や解釈の誤りなど、訂正事項が増加傾向である。再発防止の事務の見直しや、改善の取り組みが適切にできているかのチェック体制について問う。

山崎綾子総務課長

**答** 事務処理における誤りが判明した場合は検証を行い、再発防止のために業務マニュアルの見直しを行う。以後は、見直した業務マニュアルに基づく事務処理を徹底することで、同じ誤りを繰り返さないことになると考えている。それぞれの業務に応じたチェック体制をとっている。

**問** 職員の異動や制度・事務事業の変更時の情報共有ができていないか。

**答** 異動の際の引き継ぎは「香美市職員服務規程」の事務引継ぎの規程に基づき行っている。

また、事務事業の変更や制度改正時には、課内会・班会・勉強会等を行い情報共有を図っている。

**問** 再発防止のため、定期的にチェックするコンプライアンス委員会を設置してはどうか。

**答** 改善点や順守事項が守られ、適正な事務執行がなされているかどうかは、担当課でそれらを確認する流れがしっかりとできていればよいと考えている。

現時点ではコンプライアンス委員会の設置は考えていない。

**Q** 独自システムの必要性は

**A** 財政上、現実的でない



有元和哉 (市民クラブ)

本市・南国市・香南市で使用している三市共同システムについて、以下の点を問う。

**問** このシステムの本体はどこにあるのか。

山崎綾子総務課長

**答** 三市共同利用システムのサーバーは、3市それぞれ「富士通四国システムセンター」に設置している。

**問** 作成されたデータはどこにあるのか。

**答** バックアップデータの記憶媒体は、同センター内の耐火金庫に

保管されている。

**問** 不便な点がある等の声はないか。

**答** 本システムは以前のシステムとは当然異なるので、備わっている機能の変化や、帳票類の様式変更により「不便である」との声はあるが、こうしたことはシステムの入れ替

えでは必ず発生することであり、本システムに限ったことではない。

**問** システムの更新は行っているのか。

**答** 平成24年1月から稼働しているシステムで、これまで更新は行っていない。

また、業務に支障が出るような場合は、関係者が協議し有償改修を実施している。

**問** 独自のシステムの必要性はないか。

**答** 市独自にゼロからシステム構築をすることは、財政上の理由から現実的ではない。

者数、1イベントにおける最大利用者数・最低利用者数は。

柳本隆司管財課長

**Q** イベント時の送迎方法は

**A** 今後検討したい

イベント時において、所定の場所から会場まで送迎するバスの運用について以下問う。

**問** 全体での平均利用

**答** 平成25年4月から10月までのイベント数は104、全体の利用者数は2084名、全体での平均利用者数は20名、最大利用者数は54名、最低利用者数は3名である。

**問** 最低利用者数時の状況と、バスよりもタ



クシー等利用のほうが、利用者にとっても財政的にもよいと考えるが、今後の対策は。

**答** 大会参加者送迎のバスとして準備したが、当日参加者がバスを利用せずに自家用車を使って大会に参加したため、少人数の利用となったものと考えられる。

少人数での利用について、タクシー等の利用方法も含め今後検討する。

## Q 橋の安全検査は

**A** 日常点検と5年ごとの橋梁点検を



石川 彰 宏  
(市民クラブ)

**問** 国道195号の談議所から大桁の間には、橋が4本架かっている。大桁橋は既に架け替えが決まっているが、他の3本の安全面について問う。

特に香北橋は53年の歳月が過ぎ、近年大型トレーラーの通行が多

く、安全面が心配である。

定期的な安全検査は行われているか。橋と道路の取合わせ箇所凹凸ができていますが、補修できないか。

**宮地和彦建設課長**

**答** 国道195号は、橋梁長寿命化修繕計画の策定と共に、緊急輸送路として橋梁耐震プログラムに基づき耐震化を実施している。各橋梁の点検は日常

点検と共に、概ね5年経過ごとに橋梁点検を実施し、現在2巡目に入っている。

凹凸等の段差については、舗装等による修繕も行ってきたが「再度現地を確認し、対処方法を検討する」と県から聞いている。

## Q 中山間の田畑の維持は

**A** 引続き補助事業を要望

**問** 平成12年度から始まった「中山間地域等直接支払制度」も平成26年度で終了する。政府は新たに山間部などにある農地の維持を目的とする「日本型直接支払い」を平成26年度に創設すると言われている。過疎・高齢化の進む中でこの制度にどのように取り組み、中山間地域の田畑の維持管理をしていくか問う。

佐々木寿幸産業振興課長

**答** 国の農業政策は、大きく変化している。

現時点での情報では、中山間地域直接支払制度は平成26年度に第三次計画が終了する予定であるが、基本的枠組みを維持しつつ継続される予定である。

「米の生産調整」に係る直接支払交付金・米価変動補填交付金は、今後減額され、平成30年に廃止されていく予

定である。

「日本型直接支払制度」は、農地・水保全管理支払、中山間地域等直接支払、また環境保全型農業直接支援の各制度を統合し、多面的機能支払制度として創設する予定である。中山間地域の農地保全・維持は国土保全や鳥獣被害防止の目的も有していることから、引き続き補助事業が継続されるよう要望していく。



棚田を守ろう (逆川)

議会に対するご意見、ご要望は議会事務局までご連絡ください

〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号  
TEL 0887 (53) 1093 / FAX 0887 (53) 3233  
メール gikai@city.kami.lg.jp

### Q 地域活動支援に助成を

A 経費不要の助成はできる



濱田百合子 (日本共産党とくらしと福祉を守る会)

地域活動支援は、地域が自主的に行う介護予防活動である。香美市内53カ所で開催されている。地域の支援者は活動継続に苦慮されている。公的支援について問う。

答 活動効果の認識は。九内一秀健康介護支援課長

答 閉じこもり予防や運動による介護予防の効果、お互いの見守りや生活の張りなどの効果がある。

問 活動への助成は。経費の助成はでき

### Q 消防設備の要望にどう対応

A 整備方針に基づき検討

ないが、経費不要な講師の紹介ができる場合もあるので、声をかけていただきたい。

問 活動を休止、または中止している集いがあるが、原因を掴んでいるか。

答 活動されていた方やお世話役の高齢化などもあるのではないかと。集いへの交通手段に公的支援は。

答 移動手段のない方は、他の方の車への同乗などによって参加している。苦勞されていると思うが、助け合ってお願したい。

問 今後は支援体制を。集いの活動を継続していくことが大切なので、活動が続けられるような体制について担当と相談する。

問 医療施設や高齢者施設等も含め、公共施設の消火設備の点検や指導は。

寺田 潔消防長

答 消防機関の指導は、定期又は臨時に立入検査を行い、消防法令違反等があれば改善するよう指導している。

柳本隆司管財課長

答 本市には消防設備が設置されている公共施設が90施設ある。点検は前・後期年2回行っている。改善を要する場所があった場合は年度内に改善している。

問 消火栓や防火水槽の設置の現状は。

寺田 潔消防長

答 現在「香北裕・Y

寺田 潔消防長

答 消防水利の整備は、地域の要望及び整備計画に基づき、周辺の水利状況や延焼拡大危険等を基準に、優先順位を決定している。

問 市営住宅入居の際に、火災発生時の対応について説明やしおりなど手渡ししているか。

柳本隆司管財課長

答 入居の際に火災発生時の対応のしおりは渡していない。今後、避難路・消火設備等の位置を示したしおり等を作成し、入居の際に説明する。

問 平成18年に市営住宅「香北裕・YOU」第2で火災が発生した。消火設備設置について地域から要望が出ているが、今後の計画は。

寺田 潔消防長

現在「香北裕・Y



市営住宅「香北裕・YOU」

### Q 観光地で社会学習を

A 積極的に進めていく



比与森光俊 (公明党)

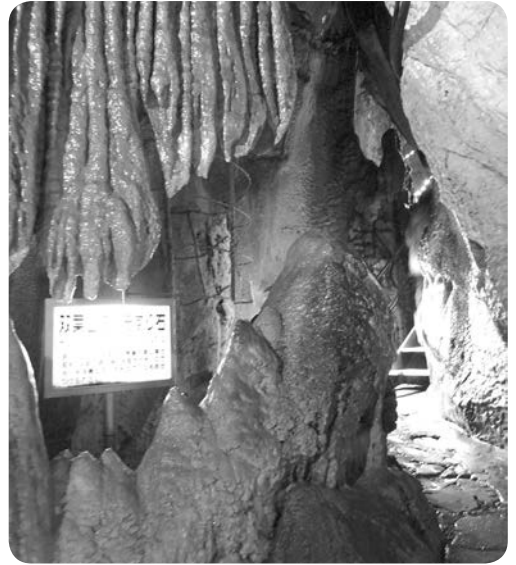
「YOU」も含め、整備方針に基づき次年度以降の候補地を検討中である。できるだけ早期に実施したい。

問 小中学生の社会学習に、市内観光地を有効に活用して欲しい。以下問う。

問 市内の小中学校では、龍河洞と吉井勇記

小中学生の社会学習に、市内観光地を有効に活用して欲しい。以下問う。

問 市内の小中学校では、龍河洞と吉井勇記



約 2000 年前、人々が居住していた龍河洞

念館を平成24・25年度、それぞれ何校何クラスが、社会体験として学習されたのか。

時久恵子教育長

**答** 龍河洞は平成24・25年度に5校9クラスが体験学習を行った。吉井勇記念館は短歌コンクールに応募した学校はあるが、体験学習は行っていない。  
**問** 2つの観光地を学習するのに適した学年は。  
**答** 小学校1年生から中学校3年生まで子ども

もの発達段階に応じて様々な学習が可能と考える。龍河洞や吉井勇記念館は、子どもたちにとってよい教材であり、本市の「宝」である。

**問** 市内観光地を社会学習することに対する見解と今後の対応は。  
**答** 子どもたちには香美市の自然・人々・文化・伝統産業等を知り、関わりを通してふるさとを愛する気持ちを培ってほしい。  
市内観光地を活用した学習は積極的に進めていく。



交通ルールを守って

**Q** 路側帯の自転車走行講習を

**A** 軽車両であることを再確認

本年12月1日「改正道路交通法」が施行された。以下問う。  
**問** 小中学校で実施されている自転車安全運転講習の内容は。

後藤博明教育次長

**答** 小学校では3年生から6年生が対象である。中学校では、個別または、全員を対象にグラウンドに模擬交差

点等を設置し、実技講習を実施している。  
**問** 法改正に伴い、路側帯の自転車走行講習が急務である。対応は。

**答** 各学校で自転車が「道路交通法」の「軽車両」であることの再認識付け、また、今回の法改正について、全体集会等でも説明し指導していく。登下校のみでなく、自転車を利用する際の交通ルール・交通安全を徹底する。

**問** 自転車衝突事故やヘルメット着用など、保護者の監督義務も重要であり、周知も求められる。今後の対応は。

**答** 保護者へは、学級だよりやPTA新聞等で周知するとともに、

**Q** 集会所耐震化の支援事業を

**A** 補助制度の拡大を視野に



織田 秀幸 (公明党)

求めている。

**問** 住宅の耐震診断や改修工事は、個人への補助金であるが、集会所改修に対する対応は。

市民の生活文化の振興と社会福祉の増進を図る集会所は、災害時の拠点施設としても、耐震性が求められている。

**答** 災害時に一時避難場所となる集会所の耐震化は、本市の重要な課題と位置づけている。  
**問** 地区集会所耐震化推進を図る支援事業の設置・検討は。

**問** 本市の集会所等の耐震化が必要とされる戸数の調査・把握は。  
**答** 現時点では把握できておらず、新年度調査を実施すべく予算要

**問** 現行補助制度の拡充や新たな助成制度の構築を視野に入れ、地域の協力をいたいただきながら対策を進めていく必要性を強く感じていく。

今田博明まちづくり推進課長

求めている。





間もなく光通信が開通（美良布）

**Q** 光通信のエリア拡大は

**A** 希望の多い地域に延伸

の事業進展が見えないが、遅れの要因は。

今田博明まちづくり推進課長

インターネットを快適に利用できる「光通信高速ブロードバンドサービス」について問う。

**問** 当初予算に盛り込まれていた光通信設備

**答** 本事業は過疎債を活用して事業者に補助

を行う事業である。財源となる過疎債の市町村配分が決定してからの事業着手となる。

**問** 美良布・大栃・繁藤の3地域への予算配

分・目標加入者数は。

**答** 事業者からの補助

申請を待っている状況で未確定であるが、美良布局管内で1億3千万円（650件）、大

栃局管内で1億1千万円（250件）、繁藤局管内で3千万円（35件）程度を想定している。

**問** 局舎から離れた基幹地域以外への対応は。

**答** 今回の補助で、3つの局舎の改修工事が終わり、事業者がケーブルを延伸しやすい環境が整う。

未整備の地域については、事業者がニーズ調査を行い、希望の多い地域には独自でケーブルの延伸を行うと聞

いている。市からも企業努力による延伸をお願いしていく。

**問** 供用開始の時期は。

**答** 事業着手から10カ月程度と聞いている。

**Q** 市民憲章の掲示板はどこに

**A** 市役所の敷地内で検討中



山崎 眞幹  
(市民クラブ)

第7次実施計画には、

市民憲章表示板の設置が新規事業として書かれている。以下問う。

**問** 設置場所は何処を予定しているのか。

山中俊明政策企画財政課長

**答** 市役所の敷地内か庁舎内か検討する必要があるが、現時点では決めていない。

**問** 材料は何を予定しているのか。

**答** 現時点では決めていない。

**問** 設置の時期とそれに至るまでの手順は。

は多くの市民の皆様に参加していただいた。表示板の設置については、関係各課と調整して進めていく。

**Q** やなせ先生を偲ぶ会は

**A** 4月中旬をめどに

広報香美12月号には、やなせ先生の特集記事



が生まれ、これまでの経緯が掲載されている。以下問う。

問 先生は本市と南国市の名誉市民で高知県の名誉県民であった。偲ぶ会等が計画されているのか。

明石 猛副市長

答 アンパンマンミュージアム振興財団・香美市・南国市・高知新聞・高知県の共催による「偲ぶ会」を、4月中旬を目途に実施すべく検討中である。

問 「やなせたかし記念館のあるまちづくり」は、第2次振興計画の柱のひとつとして書き込むことが良いのではと考えるが見解を。

山中俊明政策企画財政課長

答 次期振興計画策定の中で検討していく事ができる。

### Q 食料備蓄は1週間分以上を！

A 計画を見直し、市民に周知



利根 健二 (市民クラブ)

準備する備蓄食料は3日分で足りるという認識か。

答 これまでは、電力の復旧や支援が始まるまでに、最低3日間かかるという基準であったが、災害の規模によつては十分では無いと考える。

問 応急対応職員(災害救助従事者)用に食料備蓄はしているか。

答 応急対策に従事する職員等については、人数や日数等の指標が示されていないため、現時点では想定・準備ともにできていない。

問 各防災計画との整合性はあるが「1週間分以上の備蓄が必要である」と、早急に告知するべきではないか。

答 1週間分以上の備蓄の必要性については本市及び各家庭が

様々なメディアでも紹介されており、今後、計画等の見直しを行い、市民に周知していく。

### Q 「ふらっと中町」を総合的な施設に

A 中小企業局の事業を視野に

多びす街協同組合が補助事業を受けて「ふらっと中町」を運営しており、幅広い住民がこの恩恵をうけている。

問 この事業の存続を望むが可能性を問う。

佐々木寿幸産業振興課長

答 「ふらっと中町」で実施している中心商店街拠点整備及び空き店舗対策事業は、国の雇用対策事業として平成23年度から実施し、その後高知県産業振興推進ふるさと雇用事業に乗り換え、平成26年度末に終了の予定である。

本事業は当初から平成27年度には自立した経営を目指す事を目標とした4年間の事業であることから、平成27年度以降の事業継続は考えていない。

問 現在でも数多くの課にわたる事業を行っている。総合的な施設として恒久的に整備する方法はないか問う。

高知県移住促進事業

業で移住・中長期滞在及び交流を促進するための調査・計画の事業を来年度に計画している。商店街の活性化を兼ねているので、当課も連携していく。

今後、中小企業庁の地域商業再生事業を視野に入れたものになってくるものと考えている。



ラジオ体操「手を前から上に」

問 同法は国民の知る権利や、表現の自由への侵害、市民運動や、国家権力を監視する報道への規制など余りに多くの問題が指摘されている。何かあった時、正確な情報がなければ市民を守れない。

問 秘密保護法は日米軍事同盟を強化し、日本を「戦争する国」に導くもので、この方向に未来はない。過去の反省に立てば、紛争は軍事的対応でなく、広くアジアに拡がる対話と信頼醸成の外交こそ必要では。



大岸 眞弓  
(日本共産党とくらしと福祉を守る会)

**Q** 秘密保護法は撤回すべきでは  
**A** 運用までに十分な議論を

秘密保護法は撤回すべきでは。

門脇槇夫市長

答 政府には国土の保



秘密保護法体系イメージ図 (しんぶん「赤旗」より)

全と国民の生命・財産を守るという大きな責任がある。我が国を取り巻く国際的諸状況を考えたとき、今、特定秘密保護法制定が必要と考え、本法案が提出されたのでは。あえて強行採決という手段であっても国会での可決成立を図つたと考える。

しかし、この法に対する疑問や諸課題等については、運用までにチェック機能のあり方等、十分な議論が必要と考える。

問 文部科学省が学校別の成績公表を可とした。市町村の教育委員会に委ねられるが、学校別の成績公表は序列化につながるなど問題が多い。避けるべきでは。

**Q** 学校別の成績公表は避けて  
**A** 公表は考えていない

時久恵子教育長  
答 学力・学習状況調査は、学習指導要領で求められている力を育成するために、調査結果を分析し、指導方法や条件整備に活かすことを目的に行っている。現在、各校が自校の課題を詳細に分析し、家庭・地域に状況を伝え、連携しながら取り組んでいる。市教委はハード面・ソフト面から全力で支えていく。市教委として学校別成績の公表することは考えていない。

「鏡野中夢いっぱいプロジェクト」は、教職員が一丸となって、日々の教育活動すべてが子どもたちの主体的な活動となるように支援している。

鏡野中学校の「夢いっぱいプロジェクト」の取り組みと学校の変化について問う。

学校全体が落ち着き、子どもたちに元気な笑顔が溢れ、達成感・充実感が高まっている。

次回の定例会は、2月26日開会の予定です

# 一般質問は、3月4・5・6日の予定です。

問い合わせ 香美市議会事務局 0887-53-1093